

駿河台大学 NEWS

SURUGADAI UNIVERSITY



5.27
2022
VOL.236



「学校法人駿河台大学 中期計画(グランドデザイン2026)」が策定されました

日本社会が著しくグローバル化し、社会や人々の価値観の多様化が急速に進む中で、次世代を担う若い人達を社会に送り出す大学の社会的役割は、依然として、学生に社会を見る確かな目と自らの判断で行動できる力を身につけさせることだと考えています。

本学はこれまで、時代の要請に対応しながら、教育機関に求められる社会的役割を確実に果たせる大学であるために、「駿河台大学グランドデザイン」(2012～2016年度)、「駿河台大学グランドデザイン2021」(2017～2021年度)を策定し取り組んで参りました。そして今回、2022年3月25日に「学校法人駿河台大学中期計画(グランドデザイン2026)」(2022～2026年度)を新たに策定し、引き続き、「教育力」、「就業力」、「学生支援力」、「地域力」、「研究力」という5つの力にプラスして、法人としての要素も取り入れた取組みを拡充することで駿大ブランドの更なる発展に向けた構築・強化を図ってまいります。

本学はこれらに対して着実に取り組むことで、引き続き高校生、教育関係者、地域社会の方々をはじめとするステークホルダーからの信頼を高め、中長期にわたる大学の安定的な運営基盤を確立し、未来に向けて、このグランドデザインを基に、全学一丸となって邁進していきます。



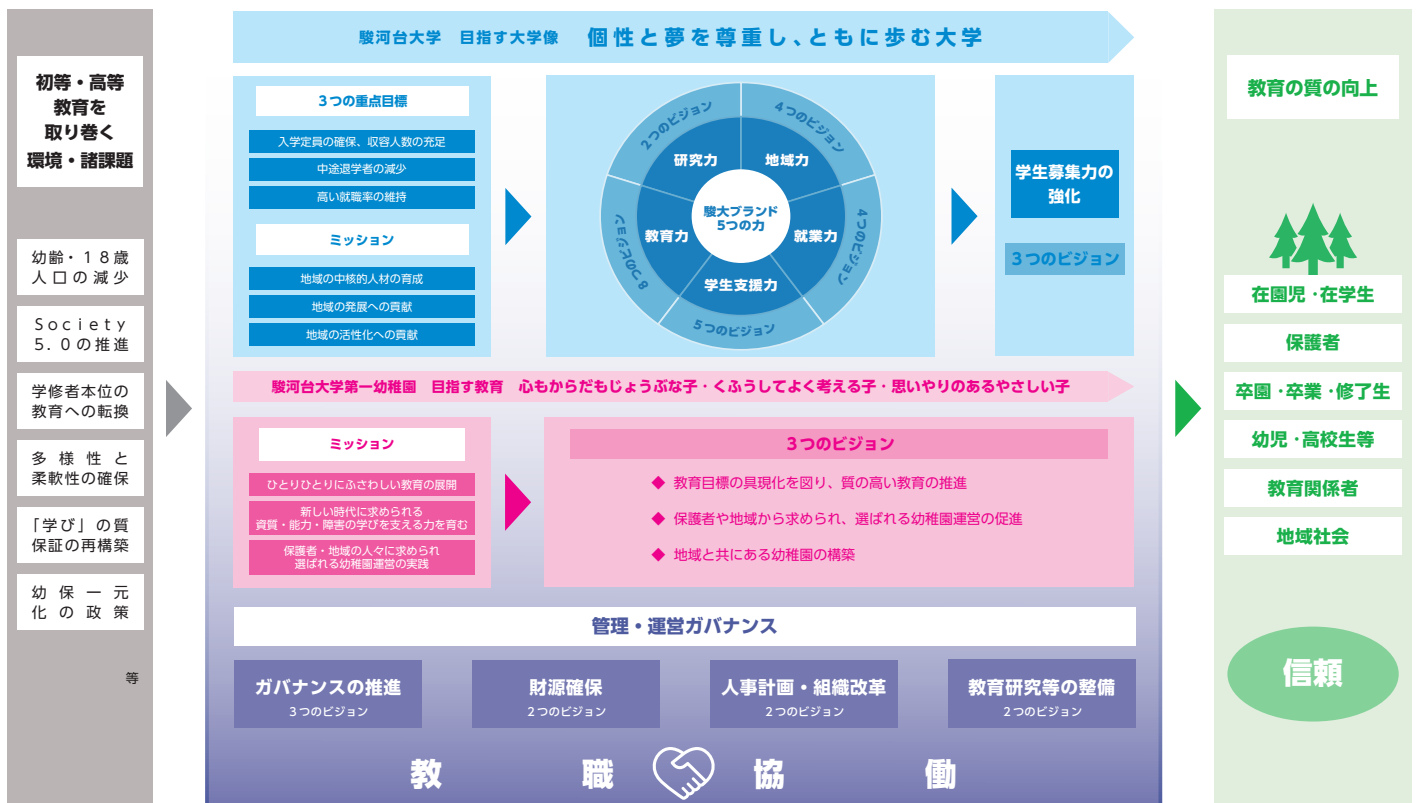
学校法人駿河台大学 中期計画構成図

学校法人 駿河台大学 中期計画 構成図

学校法人駿河台大学中期計画(グランドデザイン2026) —駿大ブランドの更なる発展に向けて— 5年間(2022～2026年度)の計画

建学の精神「愛情教育」

「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立へと促す教育」を実践します。



学校法人駿河台大学グランドデザイン

https://www.surugadai.ac.jp/about/torikumi/grand_design.html



駿大 サークル紹介

コロナ禍でも工夫を凝らして活動している3団体に
新たな取り組みと今後の思いを聞きました。

＼やっとサークルらしい活動が／

映画塾



Q どんなサークルですか

主に短編映画を制作しています。撮影から編集まですべて行い、駿輝祭などのイベントで公開します。

Q サークルの魅力を教えてください

撮影する時としない時でメリハリがあります。

Q 去年はどんな活動をしていましたか

おとしはオンラインで打ち合わせするだけでしたが、去年はコロナ禍で初めて撮影ができ、やっとサークルらしい活動ができたな、という感じでした。駿輝祭にも作品を公開し、やってよかったという達成感を感じることができました。



Q コロナ禍の活動で注意した点は

人が1か所に集中するとコロナ感染が心配なので撮影時に人数を分けて、2つのシーンを同時進行で撮影しました。メンバーを分割することで撮影が少人数になるので日程調整などに苦労しました。

Q 今後やりたいことはありますか

今撮影しているものを完成させて駿輝祭で公開したいです。サークル部員ひとりひとりの思いを観る人に感じ取っていただけたらと思います。

＼この状況を機に／

卒業アルバム制作委員会



Q どんなサークルですか

先生方への撮影の案内やスケジュール調整、カメラマンや学生達を撮影場所へ誘導をしています。

Q サークルの魅力を教えてください

企業の方やカメラマンなどの社会人と交流ができます。また敬語やメールの打ち方など、社会に出る上で覚えておいて損はない基礎的な知識を鍛えることができます。

Q 去年はどんな活動をしていましたか

例年通りのやり方ではありませんが、このコロナ禍の中でも最大限できることはやり、変えるところは変えられたと思います。当日のカメラマンや先生、学生達の誘導などは今までと同じくらい活動することができました。一方で、先生方とのスケジュール調整や制作にあたっての会議もオンラインで行うなど今までは違うやり方に簡略化できた部分もありました。

Q コロナ禍の活動で注意した点は

写真撮影日は多い時だと1度に30人程集まるため、順番待ちの際に距離を取って並ぶように列を整理したり、書類を記入してもらおうスペースにパーテーションを設けたりするなどの感染対策をとりました。

Q 今後やりたいことはありますか

去年に比べ簡略化できた部分もあり、作業がスムーズになったことで負担軽減ができた反面、先生方のところへ足を運んでおらず、直接確認ができなかったこともあり、正確性に欠ける部分があったので、この状況を機にやり方を確立させたいです。

＼活動範囲の広がりを無駄にしない／

a.c.p



Q どんなサークルですか

週に2回活動しているアカペラサークルです。バンドを組んで自分たちでやりたい楽曲を決めてライブに向けて練習をしています。

Q サークルの魅力を教えてください

練習を重ねる中で人間関係が構築されること、新しいことを始めるきっかけができることです。初心者でもアカペラできますか？という質問が多いですが、「やりたかったらまず始めてみよう」と声を大にして言いたいです！春だし！新しいことを始めよう！

Q 去年はどんな活動をしていましたか

楽譜が読めない人向けにオンラインで楽譜講座を行ったり、人前で発表する機会を作るために例年行わないライブを新たに開催しました。

Q コロナ禍の活動で注意した点は

マスクと手指消毒、換気をしっかりしました。マスクをしながら歌うのは本当に大変ですが、何かあったらサークル自体ができなくなりますので、絶対にマスクは外さないように徹底しています。

Q 今後やりたいことはありますか

実際に歌っているところをどうしても見せたい気持ちがあり、ツイッターに動画をアップしたり、ライブをしたりできる事はやっていきたいです。コロナ禍でも以前よりは活動範囲は広がっているため、無駄にしないように、コロナ禍で自分たちも変わっていきたいです。

その他サークルの詳しい情報はこちら！！

サークル情報誌「CROSS」や一部団体のサークル紹介動画のまとめは以下QRコードから！



サークル
紹介動画



サークル情報誌
「CROSS」

紹介した団体の
動画はこちら



映画塾



卒業アルバム
制作委員会



a.c.p

キャリアセンターより

from the Career Center

3年生対象の就職行事がスタートしました！

キャリアセンター主催の就職活動準備講座は春・秋学期ともに木曜日の午後を中心に実施します。人気講師も登場しますので楽しみにしてください。詳細はキャリアセンターのホームページおよびポタロウで発表します。

受講生の声



宮田拓実 スポーツ科学部3年 神奈川県立生田東高校出身

90分の就職ガイダンスを受けて就活の流れや内定に大切なことを学ぶことができました。どうやって動いていけばいいのかもだまかに知ることができたので、安心して動けるとは思いますが、まだ基礎を知っただけなのでこれからは自分で調べるだけではなく、キャリアセンターを利用し、学びを深めていきます。



吉川彩 心理学部3年 埼玉県立所沢商業高校出身

これまで就職活動に対して不安な気持ちが大きかったのですが、「就活は自分一人で進めるのではなく周りの人に手助けしてもらってもいい」という言葉を聞いて、少し安心することができました。今後は積極的にキャリアセンターを活用して就職活動を進めたいと思います。



江村太一 法学部3年 新潟県立十日町高校出身

非常にわかりやすく丁寧な説明やキャリアセンターの利用によるメリットを教えてください、とても有意義な時間を過ごせました。自分は就活に対してすごく不安があるので、あまり自分を追い込みすぎず、周りに頼りながら就活に臨みたいです。今後も木曜日の講座を利用していきたいです。



小島千佳 メディア情報学部3年 東京都立第一商業高校出身

2年次から就職活動に関して情報が欲しいと思っていましたが、3年次になって就活ナビサイトの一括登録など1から教えていただけると、不安要素も減るようになったので有難いと思いました。これまでキャリアセンターを利用することはありませんでした。今度お話を聞きたいなと感じました。

新入生ご父母対象の就職説明会を開催しました

4月2日(土)、入学式に引き続き、新入生のご父母を対象とした就職説明会を開催しました。専任教員2名が所属する本学キャリアセンターの紹介とキャリア教育・就職支援の概要、昨今の就職状況の報告及び1年次からできる就活準備のポイントや公務員講座、資格取得講座キャリアアカレッジなどについて説明をしました。キャリアセンターでは、新型コロナウイルス感染状況を勘案しながら、今後もご父母対象の就職セミナーを開催していく予定です。



資格取得講座 キャリアアカレッジ資格ガイダンスを開催しました

3月31日(木)から4月11日(月)にかけて、資格取得講座キャリアアカレッジ「資格ガイダンス」を開催しました。学部ごとの学びが活かせる資格や社会で役立つ様々な検定などの情報に、多くの学生が真剣に聞き入っていました。「資格を取りたい」という漠然とした思いが、各講座の担当講師から話を聞くことで具体的になってきた学生も多いのではないのでしょうか。各講座は合格実績の高い専門業者の協力を得ており、いずれの講座も学内で受講することができ、資格の専門学校と比べて安価な受講料となっています。資格取得を目指すことで、専門分野の奥深い知識が身につく、その知識はもちろん、勉強に費やした時間と努力は将来の自身の成長に活かされることでしょう。資格へのチャレンジは可能性を広げ、大きな自信を勝ち取るチャンスです。「たくさんの資格があって、どの資格を取ろうか迷っている」、「取りたい資格はあるけど迷っている」、そのような方はぜひキャリアセンターで相談してください。



2022年度開講講座

- ① 宅地建物取引士(宅建士)【国家資格】
- ② 日商簿記検定3級
- ③ 秘書検定2級
- ④ ITパスポート試験【国家資格】
- ⑤ 3級ファイナンシャル・プランニング技能検定【国家資格】
- ⑥ 保育士【国家資格】
- ⑦ リテールマーケティング(販売士)検定2級

詳細はキャリアセンターで配布している「資格取得講座・公務員合格講座パンフレット」を参照してください。キャリアセンターのホームページからも見ることができます。
<https://www.surugadai.ac.jp/career/>



インターンシップに参加しよう！

新年度が始まって2ヶ月経ち少しずつ慣れてきたころでしょうか。今回は、そろそろ募集が開始されるインターンシップについて、皆さんにとってのメリットをご紹介します。1・2年生、また就職活動本番までの時期を過ごしている3年生は是非ご一読ください。

インターンシップとは、企業や行政機関の仕事を体験する制度のことで、職場のリアルな雰囲気や業務の内容について知ることができます。一言でいうと「**企業と皆さんが互いのことを知り合う場**」。将来「仕事に就く」皆さんにとっては【**検討・お試し・確認**】【**挑戦・リハーサルの機会**】と捉えることができます。



キャリアセンター講師
石橋英理

【検討・お試し・確認】

皆さんの中には「お金がもらえないのに働きたくない」「社会に出てからずっと働くわけだし学生のうちから働く必要はない」と思っている方もいらっしゃるかもしれません。でも、考えてみてください。社員として働いたことがないのに、どうやって自分の働く方向性を定めたり、就職先を選びますか？インターンシップでは、アルバイトでは経験できない部署の仕事など、様々なプログラムが用意されています。

主なインターンシップの種類

実践型	社員の営業に同行したり、オフィスで業務を手伝ったりするなど、仕事をサポートすることで、その会社で働く疑似体験をします。期間の目安は3日～2週間程度。
課題解決型	営業戦略を考え最終日に社員の前でプレゼンテーションするなど、就職活動生のチームで与えられた課題に取り組みます。期間の目安は1日～1週間程度。
見学・セミナー型	その業界や企業・団体についての説明を聞いたり、仕事の現場を見学したりします。インターンシップというよりも説明会に近い場合も多く、期間の目安も1日程度。

(コロナ禍においては、オンラインでの開催を実施する企業も増加しました。)

【挑戦・リハーサルの機会】

初めてのことをやる時には緊張したり躊躇したり、誰しも不安な気持ちになるものです。それを少しでも軽減するためにインターンシップを活用できます。特にお勤めしたいのが「**選考のあるインターンシップ**」です。書類選考や動画選考など選考方法は企業によって異なりますが、就職活動本番と同じような緊張感を味わうことができます。インターンシップが数多く用意されている時期は6～8月、12月～2月の2回。なかでも6～8月については、皆さんの就職先の方向性が明確に定まっているわけではない中でのエントリーであることは企業側も熟知していますので、本選考よりも気軽な気持ちで臨むことができます。

インターンシップには6月1日以降エントリーできますが、「リクナビ2024」や「マイナビ2024」など、すでに先行予約を受け付けているサイトもあります。エントリーしたとしても、その後の企業側との日程調整で都合が合わなければ参加を辞退することもできます。今年も対面・Web両方でのインターンシップ実施が予想されます。学生の皆さんにしか用意されていない機会・メリットであるインターンシップにぜひ参加をしてみて、自分の知りたい情報を取りにいきましょう。

メディアセンター より



「対面授業のあとにオンライン授業があるけれど、キャンパス内でどこか良い場所ないかな…」そのような方にオススメの場所を紹介します。メディアセンター1・2階のPCワークエリアには約140台のノートパソコンがありますが、自分のPC、タブレットやスマートフォンを利用してオンライン授業を受講する場所としておすすめなのは、3階の図書エリアです。

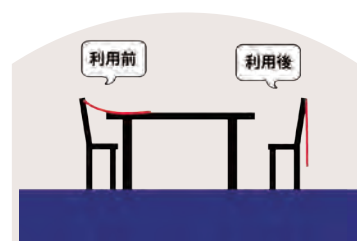
閲覧席が120席あり、ほとんどの机の上に電源が確保されています。近くに電源が無くても、館内で利用できるモバイルバッテリーの無料貸し出しサービスがあります。発話を伴うオンライン授業も受講が可能です。

なお、同じ図書エリアでも4階は静粛フロアとなっていますので、発話の可能性のあるオンライン授業は3階で受講してください。

<利用方法>

- ・オンライン授業を受講する際は、各自イヤホンを持参してください。
- ・発話をする際、必ずマスクを着用してください。

オンライン授業はメディアセンターでも受講できます



- ・利用座席を把握するため、席にリボンをつけています。利用時は机にあるリボンを椅子の後ろに垂らして使用してください。
- ・利用後は、リボンを机の上に戻さず、椅子に垂らしたままにしてください。
- ・椅子のリボンが垂れている机を使用する際は、館内に設置された消毒液と拭き取り紙を使い消毒してから使用してください。

グローバル教育センターより from the Global Education Center

2021年度「海外語学演習」をオンラインで実施しました！

本学には海外語学演習という短期留学の授業があります。2021年度は新型コロナウイルスの影響を受け、夏休みの開講は全面的に中止、春休みは初めてオンライン留学として募集がなされ、英語圏ではフィリピン留学が開講されました。参加学生の体験報告を紹介します。(学年は海外語学演習参加時)

私は海外語学演習を利用して約1ヶ月間オンライン留学しました。きっかけは、中学から英語を勉強してきたので大学でも英語を勉強しようと考えたからです。オンライン留学を始めた頃は英語ネイティブ講師の発音に慣れず、何を話しているのか理解するのに時間がかかってしまうこともありました。また、英語で講師とディスカッションを行う授業の時に、自分の意見や感想を英語にして伝えるということができませんでした。しかし、日々、講師の方々と授業を重ねていくことで自分の意見や言いたいことをうまく伝えることができるようになりました。このことから私は英語は毎日話すことによって身につくものだと思います。これからも英語にたくさん触れる環境をつくっていきたいと思います。

(経済経営学部1年 松谷昇樹)



海外語学演習は2022年度夏休みの開講も中止となりました。春休みについては、現地への渡航またはオンライン形式での開講をめざして調整が進められています。皆さんも参加して語学と文化を堪能しましょう。

グローバル教育センター講師 島原知大(英語担当)

2021年度「第9回駿大外国語プレゼン大会」の表彰式兼上映会をおこないました！

2022年3月30日(水)15時より、第二講義棟5階のグローバル教育センターにて、「第9回駿大外国語プレゼン大会」の表彰式兼上映会をおこないました。朴昌明グローバル教育センター長より、表彰状と記念品が贈られたのち、出席者全員で投稿された作品を鑑賞しました。受賞者のみなさん、あらためて、おめでとうございます！

2021年度プレゼン大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画投稿形式で実施されました。発表テーマは、「コロナ後の希望、したいこと」「コロナで思ったこと」でした。

受賞プレゼンテーション

コラボレーション賞 フランス語「コロナ後にしたいこと」

- ・矢嶋樹さん(法学部2年)
「授業以外にフランス語を学ぶ機会がなかったが、自分たちで考えて動画を作成し、無事にプレゼンができてよかったです」
- ・坂本瑞樹さん(メディア情報学部2年)
「上映会で自分のプレゼンを聞いて照れくさかったのですが、授業で習ったことが一定の形になってよかったです」
- ・坂本夕綺さん(メディア情報学部3年)
「このような機会はなかなかなかったので、みんなで協力して、良い作品ができてよかったです。さらに、賞までいただけてうれしかったです」
- ・指導教員(山下尚一准教授)の講評
「3人のそれぞれの動画をうまくつないでいました。コロナ後に向けたポジティブな内容がわかりやすく、フランス語特有の音もうまく発音できていました」

熱演賞 韓国語「それでも私の夢は韓国留学」

- ・徳山聖さん(心理学部2年)
「すごく照れくさいです。でも、韓国語の試験の勉強にもなりました。また、今回作品づくりを経験したことで、今後韓国に留学した時にパワーポイントで発表できると思います」
- ・指導教員(朴昌明教授)の講評
「コロナ禍で気持ちが挫けそうになっても、地道な努力で韓国語を上達させ、正規留学という新たな夢を目指すストーリーがとても感動的でした。セリフの丸暗記ではなく、「自然な自分のことば」で感情をしっかり込めたプレゼンがおこなわれていました。韓国語特有の発音の変化など難しい箇所も発音できていました」

*学年はプレゼン大会実施時

受賞した2つの作品は、駿河台大学YouTubeチャンネルにて閲覧できます。ぜひアクセスしてご覧ください！

そして、外国語プレゼン大会に興味をもったみなさん、外国語の力を伸ばしたいと考えているみなさん、さらに、学生時代にしかできないことにトライしてみたいというみなさん、ぜひ、次回の外国語プレゼン大会にご参加ください。たくさんのご参加、お待ちしております！

グローバル教育センター准教授 山下尚一(フランス語担当)



SUNDAI SPORT Information



スポーツ科学部 チームビルディング研修が目指すもの

スポーツ科学部が発足して3年。発足時より新入生教育としてチームビルディング研修を導入してきました。今年は、4月6日(水)～9日(土)に、2班に分かれて2日間の研修を行いました。その目指すところは何か。導入にあたり、骨格作りに尽力された狐塚賢一郎副学長と実際に研修の現場で中心となる鈴木慶子講師に寄稿いただきました。

学びの基礎となるプロジェクトアドベンチャー体験

副学長 スポーツ科学部教授 狐塚賢一郎

スポーツ科学部では、学びの特色の1つとして「『チームプレイ』と議論で他者と協働する力を培う」ことを掲げています。

学部での4年間の「学びの基礎」づくりとして、入学当初の4月上旬に、学内や「高尾の森わくわくビレッジ」においてのプロジェクトアドベンチャー(以下PA)体験(2日間)をおこなっています。この活動では、友達との課題解決型のさまざまなグループワークを通し、クラスのメンバーとの関係性を高めて、コミュニケーション能力や協働する力を養います。また、お互いに「関わる」ことで、自分の中の「チャレンジする心(自分の殻を破る)」勇気を再確認することを目標としています。

上記の活動では、P(Plan)D(Do)C(Check)A(Action)サイクルで活動の振り返りを行い、自分の考え方や関わり方を見つめ直し、その見つめ直しを次の活動に活かすことを実践します。このPDCAサイクルの実践を、その後の大学生活での学習や課外活動等の日常場面に活かす基礎とすることを目指しています。

また、上記の活動は科目「チームビルディング」の前半部分であり、後半は学内での集団行動の授業となります。集団行動では、PAでの活動を基礎に、クラスの仲間と協働しグループとして1つの作品をつくりあげる過程を体験し、グループでの問題解決能力を高め、信頼関係を構築します。

チームビルディング研修(プロジェクトアドベンチャー編)

スポーツ科学部専任講師 鈴木慶子

チームビルディング研修では、4年間、共に学び合う仲間と知り合い、大学生として主体的に学ぶ入り口に立つことを目的としています。プロジェクトアドベンチャーは1年次ゼミ単位の小グループにわかれて、2日間にわたって活動します。2022年度は、1日目は大学内施設にてお互いを知り合う活動や思い切り体を動かす体験をし、2日目は「高尾の森わくわくヴィレッジ」にて課題解決型アクティビティを通してチームでチャレンジをしました。

プロジェクトアドベンチャーを導入する前のスポーツ科学部(前身の現代文化学部)の学生は、授業内外で部活ごとに固まって大学生活を送っている傾向がありました。プロジェクトアドベンチャーを導入した後は、学生が部活ごとに固まらずに、たくさんの友人を作ることができているように思います。授業でペアやグループを組む際も、さまざまな友人がミックスして組めるようになりました。

実際の研修はファシリテーターと呼ばれる外部講師の方を中心に運営されるのですが、事前に教員側から「新入生はプロジェクトアドベンチャーをただ楽しむだけではなく、『大学は学問を追求する場所である』ということを実感してほしい」という願いも実際に伝えてあります。ファシリテーターの皆さんが、そのあたりの言葉かけも工夫してくださっています。

プロジェクトアドベンチャーで友人になった仲間と学び合い、プロジェクトアドベンチャーでできるようになった積極的な発言や行動を、大学生活でも続けていってほしいと願っています。



実際に2日間の研修に参加した新入生の声

MMさん

チームビルディング研修の2日間で、クラスメイトと親睦を深めることができ良かったです。さまざまなアクティビティにおいては、ただ身体を動かすだけではなく、皆で意見や案を出し合って達成した時が1番楽しかったです。よい経験ができました。

IHさん

チームビルディング研修の最初の方に、人の名前を覚えながら行うアクティビティが組み込んであり、クラスメイトの顔と名前を覚えやすかったです。それにより早々に皆と仲良くなれて、次のアクティビティも円滑に楽しく進めることができました。赤と青のマークの上しか歩けないというルールのアクティビティが1番記憶に残っています。

HTさん

2日間の活動を通して、クラスの皆と仲良くなれて、コミュニケーションも取れたので楽しかったです。けれど皆で話し合いの時には緊張してしまい、なかなか自分が意見を言うことができなかったのでそこは少し後悔しています。これからクラスでの活動も増えてくると思うので、もう少し自分の意見を主張できるように、皆と打ち解けていきたいと思います。私は、橋渡しのアクティビティが1番心に残っています。2日間の活動で1番大変だったけれどやりがいがありました。

男子ホッケー部 佐川礼選手
U21男子ジュニア日本代表選手候補へ

3月16日(土)、日本ホッケー協会よりU21男子ジュニア日本代表選手候補27名が発表され、本学から男子ホッケー部に所属する佐川礼選手(法学部3年 山口県立高森高校出身 MF)が選ばれました。候補選手は書類審査と東西の地区別選考会で選ばれ、その後、サムライジャパンの合宿が最終選考となり、アジアチャンピオンズカップの前に18名が選ばれます。



陸上競技場外周 ランニングコース新設

授業時及び課外活動の練習場所拡張を目的として、陸上競技場外周に専用のクロスカントリーコースを新設しました。1周は560mのクレイ舗装走路とし、地形を活かした起伏のあるコースとなりました。

外周道路やトラック等のフラットなコースと違い、アップダウンがあるので、普段使わない部分の筋力アップ効果が期待できます。また、コースが土を固めたものなので、走った感覚が非常にソフトで膝や足首に負担が掛かりません。そして、コースからの眺めが良いので走っていて景色も楽しめるコースとなりました。ウォーキングコースとしても最適です。



ランニングコースを走る駅伝部

より良い学習
環境提供のため、
学内施設を新設
・改修しました

ゼミナール棟2階 バリアフリートイレ新設

バリアフリートイレの設置が唯一無かった、ゼミナール棟にバリアフリートイレを新設しました。2階に男性用トイレが2か所あったため、その1つを改修しバリアフリートイレにしました。設備としては従来のバリアフリートイレには設置されていなかったオストメイトを設置し、幅広い利用を可能としました。



オストメイトが設置されたバリアフリートイレ 広々とした作りになっています

第二講義棟3階7301教室 長机及び椅子の更新

BEFORE



更新前の7301教室

AFTER



更新後の7301教室

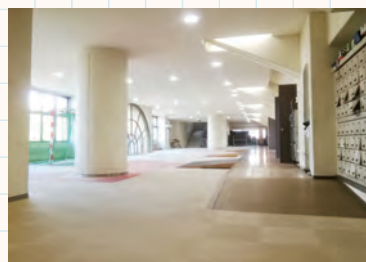
建物竣工当初より使用していた、3人掛け長机40台と椅子120脚を近年導入しているキャスター付きかつ折畳みタイプの長机に更新しました。奥行きも従来の40cmから45cmと大きくなり、使い勝手が向上しています。机の天板の色が従来よりも明るい木目となった為、照明の反射が良くなり、部屋全体も明るく感じられます。また、椅子も近年導入品と揃え、軽くて座り心地の良い椅子に入れ替えました。

体育館2階共用部

照明器具LED化更新工事

体育館2階フロア共用部の照明器具(蛍光灯他)103台を、器具の老朽化改善及び節電を目的として、LED器具に更新しました。

それにより、フロア全体の照度アップと更なる省エネ化が実現できました。また、人感センサー付きの器具を要所に取り入れ、使い勝手も向上しました。LED化したことにより、空間全体の色見もスッキリとした雰囲気に変わりました。



体育館2階エレベーターホール



体育館2階廊下

今後もより良い学習環境の提供を目指して、環境整備を行っていきます。 財務部 施設管理課